



団長
渡邊正人さん

このまちには、日々の暮らしを大切に想う人たちの温かな気持ちが流れています。ふるさと能代を思う気持ちが、まちの安心を育てます。

地域の安全安心は、特別な誰かだけが守るものではありません。特別な経験や強い力がなくても大丈夫。広報や応急手当の補助、後方支援など、女性でも安心して参加できる役割がたくさんあります。

消防団は年齢や経験に関わらず、互いに支え合いながら学び、備えています。できることを、できるときに。その一歩が、まちの未来を支えます。あなたの力が加わることで、能代はもっと強く、もっと優しいまちになります。

未来の仲間として、男性、女性問わず、あなたの優しさと力を届けてくれるら、とてもうれしいです。

できることを、
できるときに

教えて団長！ 消防団のギモン



Q 仕事や学業、家庭と両立できる？

A できます。団員は本業（会社員・自営・主婦など）を持っており、普段の生活をしながら、活動は無理のない範囲で参加できる体制になっています。

Q 女性も入団できる？

A もちろん女性も入団できます。全国的にも増加しており、女性団員の活動は多様化し、予防啓発・応急手当指導・後方支援などで活躍が広がっています。

Q 年齢制限はある？

A 18～65歳であれば入団できます。そのほか、消防団OBや学生などは、火災予防・広報・救護活動などの特定の任務に限り従事する機能別団員として入団することができます。

Q 過酷な現場や危険な場所に行くの？

A 消防団は「安全第一」が大前提です。危険が伴う火災現場では、無理な活動は絶対にさせません。団員の安全が確保できる範囲でのみ活動します。

Q 消防の知識がなくても大丈夫？

A 知識ゼロから大丈夫。入団時点で専門知識は不要です。消防の知識や経験がないことを前提にした研修体制が整っています。

Q 上下関係は厳しい？

A 消防団には班長・部長などの役職がありますが、それは災害時の指揮系統を明確にして安全を守るための役割です。普段は「地域の仲間として助け合う」関係です。

活動や訓練などの見学もできますので、お問い合わせください。
総合防災課(能代消防署内) TEL52-3311

団員にインタビュー



実際に地域を守っている消防団員にお話を聞きました。消防団に興味を持ったきっかけやここだけの話をたくさん聞くことができました。

第6分団
須藤清也さん



第2分団
木村さゆりさん

Q 消防団に入ったきっかけは？

19歳のとき、近所の人に誘われて入団しました。入団から33歳になった今でも、分団では最年少です。



消防操法大会選手時代の須藤さん(写真中央)

仕事が運送業で、地域の高齢者を見守る買い物宅配サービスをしているので、高齢者と接する機会が多くあります。話をしているうちに、「この人たちを守りたい」という気持ちが芽生えました。自分の子育てが落ち着き、元気なうちに地域のために何かしたい気持ちもあったので、知人が消防団に入っていたこともあり、昨年5月に入団しました。

Q どういった活動をしているの？

現在、市外で働いているので、なかなか参加できませんが、火事は、過去に2回出動したことがあります。火災予防運動の巡回にも参加しています。消防操法大会にはおととしの全国大会まで、ポンプ車操法部門の選手として12年間参加しました。

最近では市内地区で床上床下浸水被害が2年連続で発生しています。大雨のときはポンプ車を使った排水作業もします。

夏と秋の火災予防運動と年末警戒、消防出初式に参加しました。火災予防運動では分団の消防車にそれぞれ乗り、鐘を鳴らして火災予防を呼びかけます。同じ分団の仲間は年代も仕事も違う人たちで、話をするのがとても面白いです。みんな優しいので、消防出初式では行進の仕方を教えてくれました。能代のことが好きで、アツい人が多いです。

Q 面白エピソードを教えてください！

何年か消防操法大会の全県大会に出られない年がありました。厳しい練習を重ね、久しぶりに出られるはずだった全県大会が台風で中止になり、悔しすぎたのか当時の分団長が泣いていて、初めて大人の涙を見ました。

出初式の行進中に、他の分団に巻き込まれて迷子になってしまいました。皆同じ制服なのでどこに戻ればよいのか分からず…。仲間がすぐに探しに来てくれて何とか戻ることができました。

Q 今後やってみたい活動は？

他の分団との交流が生まれて楽しいのではないかなと思うので、役職や世代、地域に関係なく、受けられる講習があれば参加してみたいです。

仕事で多くの高齢者と話をしていると、1人暮らしで心細い思いをしている人が多くいるように感じます。話し相手かつ防災の話もできるので、個人訪問をやりたいです。

Q 未来の消防団員へメッセージ！

苦勞も多いですが、その分得るものも大きいです。地域の人や分団の人とも交流して仲良くなれます。ぜひ一緒に活動しませんか。

生まれ育った能代を安全安心な地域にするために、ちょっとでも貢献しませんか。